



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2014年3月のロータリーレートは1ドル=102円
地区大会は10/4～10/5



例会優り

第734回例会

ホテル日航3F

3/6(木) 19:00

例会出席率 23/36 63.88%

1月修正出席率 66.47%

点鐘

国歌『君が代』

ロータリーソング『奉仕の理想』

四つのテスト

会長挨拶：今日は多くのお客様に
来ていただきました。

ここ最近、連続通り魔事件やいろいろと恐ろしいことが起
きていますが、犯人が捕まってひと安心です。それから、
関越自動車道ツアーバス事故がまだ2年も経っていないの



に、今度は小矢部サービスエリアで起きた死傷事故がありました。あの関越自動車事故の教訓が生かされていれ
ば今回の事故は起こらなかったのではないのでしょうか。とても残念です。

ちなみに労働基準法では、7日間に1回の休みが義務付けられていますが、バスの運転手の場合は2週間に一度の
休日出勤が認められている為、最大で13日間働くことが出来るようです。10日間以上続けるの勤務はよくあると
のことでした。これでは事故が起きて不思議ではないのではない
でしょうか。

今日はブリアナさんの誕生会です。限られた時間ですが、皆さんで
お祝いをしたいと思います。

クラブ例会予定 2013-2014年度

- 3/13 張泓明様(小松東RC 米山奨学生)
理事役員会
- 3/20 光井一恵様(小松サマースクール実行委員会代表)
- 3/27 山出保様(金沢前市長)
- 4/3 董又碩様(能美RC 米山奨学生)
- 4/10 若野恒彦様(R 米山記念奨学会委員長)
理事役員会
- 4/17 今年度委員会事業振り返り

ゲスト紹介 (国際青少年交換受入学生) Brianna Cardina さん
村井様 ご家族(4月からのホームステイ先)
久純様、公美様、櫻子さん、颯真くん
江守会員 ご家族(現在のホームステイ先)
イルハン様、志野様、葉奈ちゃん、奏良ちゃん
ブリアナさんお友達 7名

2013～14 理事・役員 委員会 ★太字：理事役員

(役員) 会長：野城勲 エルト：宮永満祐美 副会長：若狭豊 副会長：魏賢任 幹事：上杉輝子 副幹事：井口千夏
会計：東海林也令子 SAA：武藤清秀 直前会長 北山吉明

(理事) クラブ管理運営委員長：西村邦雄 副：二木秀樹 親睦：○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満
井口千夏 プログラム：○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA：○武藤清秀 大路孝之 川きみよ
ニコニコ：○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則：○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智

奉仕プロジェクト委員長：木場紀子 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 竹田敬一郎 社会：○谷伊津子
辰己クミ 大沼俊昭 国際：○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子

喫煙問題：村田祐一 会員組織委員長：金沂秀 副：辰己クミ 会員増強修練：○藤間勘菊 石丸幹夫
炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：永原源八郎 ロータリー財団・米山寄付：
○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付：野城勲 広報委員会委員長：村田祐一 副：江守道子

広報：○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 ロータリー情報：○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報ホーム
ページ：○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智
長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241(事務局) 村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日(土日祝日) 幹事 上杉輝子

他ロータリー受入留学生 コートニー エリアスさん、カミール マルティネスさん、ニック バルアーくん、サム レークくん、グレース ロウさん、レベッカ カリリさん
 昨年の派遣留学生： 安田 優美子さん
 入会予定：金沢市立病院 病院長 高田 重男 様



ブリアナさんお小遣い支給

村井 様ご主人 **村井久純 様**より一言：東海林也令子先生からホームステイを頼まれてまして、ブリアナさんを預かる事にいたしました。家内や子供の了解を得ましたので、少しでも思い出になるホームステイをと思っております。



ビジターのご紹介 なし

今月の誕生者の紹介

6日生まれ 江守 巧 会員 20日生まれ 竹田 敬一郎 会員
 26日生まれ 山崎 正美 会員 27日生まれ 大沼 俊昭 会員
 31日生まれ 野城 勲 会員



《 食 事 》

幹事・委員会報告



上杉輝子幹事：3/4の金沢南RC創立45周年記念例会に会長・幹事が出席しました。大勢の方が出席され盛大な会でした。本日はたくさんのゲストをお招きしています。ここにいる留学生の皆さんがいずれロータリアンとなって世界中で活躍されたら嬉しく思います。



北山吉明前会長：昨年、わがクラブで1年間実行したカレーライスの日で蓄えたお金と、金沢8RC合同新年会で集めました東北震災復興支援寄付金を合わせて、仙台の「こどもの村」に寄付いたしました。このたび仙台から「こどもの村通信」が送られてきましたので、内容を紹介します。

昨年から本年にかけて、「こどもの村」建設の計画が進行し、具体的な設計図もできました。国内外から多くの寄付金が寄せられ、いよいよ建築がスタートしそうです。NHK 交響楽団やベルリンフィルからのコンサートによる寄付も届いているそうです。一日も早く、親を亡くした子供たちに暖かい育成の家が提供されることを願います。



ニコニコBOX ￥8,000- 本年度 ￥525,100- 残高 ￥5,293,407



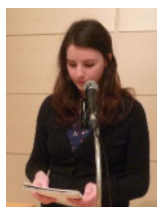
野城会長：ブリアナ様、お誕生日おめでとうでございます。本日よい思い出になれば幸いです。

石丸会員：ブリアナさん、お誕生日おめでとう。小さい手鏡をプレゼントします。ますますきれいになって下さい。
井口会員：ブリアナさん、お誕生日おめでとうでございます。ステキな一年でありますように。
上杉幹事：ブリアナさん、お誕生日おめでとう。今日は楽しい時間を過ごしましょう。
東海林会員：ブリアナさん、お誕生日おめでとうでございます。村井様、4月からよろしくお祈りします。
宮永会員：ブリアナさん、お誕生日おめでとうでございます

-----ブリアナさん お誕生会-----

村田会員より横笛演奏のプレゼント（ひなまつり）

- ・ブリアナさんよりご挨拶
- ・バースディソング（北山会員）
- ・ケーキ・ろうそく吹き消し
- ・クラブより プレゼント（東海林カクセー）・花束（川国際奉仕委員長）贈呈
 会員・お友達からプレゼント贈呈
- ・ブリアナさんへの質問コーナー
- ・ブリアナさんより一言

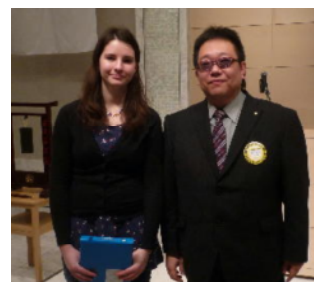


こんばんわ。せんげつわ、たのしかったです。11 にちにわたしとわたしの ともだちとくつきーをつくりました。しっばいしました。おいしかったです。12 にちにながっこうのおんがくこーらすでことをひきました。むずかしくて おもしろかったです。わたしはわたしのともだちとあいました。バレンタインでは わたしのクラスのともだちにクッキーをあげました。おとこのこはずかしかったです。
 スターボックスにいきました。がっこうのなかにはバスケットをしたり、ほーそぶをしたりさんねんせいはいそぎょうしました。こんしゅうにはねんせいと いちねんせいがあります。

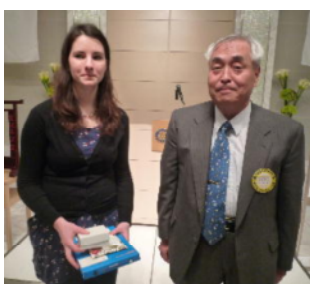
こんげつはあたらしいホストかぞくにいきます。(全部ローマ字原稿でしたが、この様に読みました。石丸)



バースディソング (北山会員)
ケーキ・ろうそく吹き消し



クラブよりプレゼント (東海林カウンセラー)・花束 (川国際奉仕委員長) 贈呈



ブリアナさんへの質問コーナー

村井颯真くんが英語で質問しました。

点 鐘

Brianna Cardina (通称ブリちゃん)の19回目のお誕生日で

昨日は我が家にホームステイをしているアメリカの高校生 Brianna Cardina (通称ブリちゃん)の19回目のお誕生日でした。アイクンが腕を振るってトルコ料理を作ってくれました。一番喜んだのは葉奈です。私は「カロリーオーバーやな!」と思いながらおいしくいただきました。

江守巧・道子会員より

2014.3.11



『泉鏡花と「滝の白糸」』

泉鏡花記念館 学芸員 穴倉 玉日 様



プロフィール

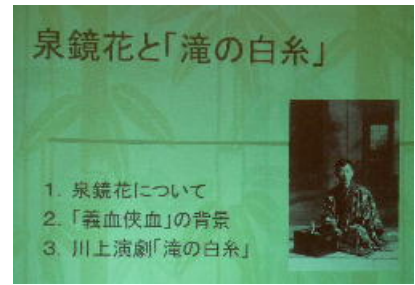
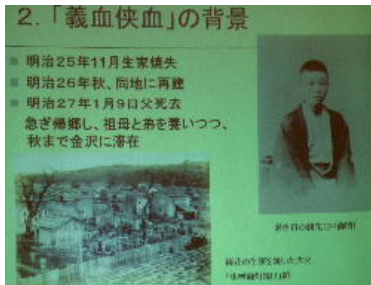
泉鏡花記念館学芸員。

福井大学卒業後、泉鏡花を生み育んだ金沢で研究を続けるため、金沢大学大学院に進学。

平成 17 年金沢大学大学院博士課程単位取得退学。

石川工業高等専門学校非常勤講師を経て、平成 19 年 4 月から現職に付く。

特に鏡花とその作品が世に知られる一翼を担った新派劇での上演史をライフワークとする。共著に『論集泉鏡花第 5 集』『別冊太陽 泉鏡花 美と幻影の魔術師』など。



講話概要

新派の名演目の一つとして知られる「滝の白糸」の原作は、明治 27 年 11 月 1 日から 30 日まで読売新聞に連載された泉鏡花の小説「義血侠血」です。鏡花の原案に師である尾崎紅葉が完膚なきまでに手直しをし、現在の形となったこともあり、発表当時は「なにがし」の署名(匿名)で掲載された後、翌 28 年に紅葉と鏡花の連名で初版本が出版されています。よく知られている「滝の白糸」の通称は、川上音二郎がこの作品を初演した際に考えられた外題です。

その自筆原稿に「先生のおかげにてこれが新聞にいで候ときの嬉しき忘れ申さず候」と自ら記したように、「義血侠血」は特に鏡花自身の思い入れの強い作品です。当時、紅葉の内弟子として東京で修行中だった鏡花でしたが、明治 27 年 1 月 9 日に郷里金沢で父清次が急逝、急ぎ帰郷した 21 歳の彼を待っていたのは、一家の家長としての重責と父が残した借財に追われる日々でした。一時は金沢城の百間堀で入水を考えるほど追い詰められましたが、師紅葉の励ましや親戚の援助もあり、同年 9 月に作家修業を続けるために上京、紅葉のもとに戻ることができました。実はこの間に書かれたのが「義血侠血」なのです。

物語では法曹を目指しながらも貧しさから馬車の馭者で生計を立てている村越欣弥が、大評判の女水芸師・滝の白糸から学資の援助を受けることになり、東京に旅立っていきますが、その旅の経路は父の死を乗り越え、新たな希望を胸に再び紅葉の膝下をめざした鏡花がたどった旅路と同じものでした。まだ北陸線が開通していなかった当時、金沢から上京するには福井の敦賀まで徒歩などで移動し、そこから列車に乗って新橋に向かうのが通常でしたが、この明治 27 年 9 月だけは諸事情により鏡花は富山の伏木港から海路直江津を目指し、そこから鉄道で上野に出るルートを選んでいます。鏡花は自身と同じ上京ルートを、やはり夢を追って東都を目指す村越欣弥に作品の中でたどらせたのです。

新幹線開業に大きな期待を寄せる現在の私たちと同じように、山野を延びていく鉄道のレールは明治の青年たちの夢の階(きざはし)でもありました。そのような視点で「義血侠血」を読むと、ふだんは難しく思われがちな鏡花の世界も、より親しく感じられるのではないのでしょうか。

ロータリアンの皆さまへ 014年ロータリー国際大会

オーストラリアのシドニーで開催される 2014 年ロータリー国際大会は、ロン・バートン RI 会長の年度を祝う機会となります。国際大会への思いを語るロン・バートン RI 会長のメッセージをご覧ください。

国際大会への参加を通じて、ロータリーが世界に与えている影響を肌で感じ、クラブや地区が取り組む奉仕の質を高める方法を学びましょう。国際大会に出席する理由は実にさまざまです。

- 「ピーラボン」友愛の家の展示で奉仕プロジェクトのアイデアを得たり、プロジェクトのパートナーを見つける。
- 家族と楽しい時間を過ごす。シドニーには、家族で楽しめるアトラクションが数多くあります。
- ポリオ撲滅、ソーシャルメディア、水問題など、各分野の第一線で活躍する専門家の講演を聞く。
- リーダーシップのスキルを高め、職業や人道的活動、趣味で共通の関心を持つ人とのネットワークを広げる。次期



クラブ会長のための特別分科会や会長エレクト主催リーダーシップ昼食会に出席し、仲間のリーダーとの交流でアイデアを広げる。

- ホスト組織委員会のロータリアンの企画によるシドニー観光を楽しむ。
- 今後の国際大会について情報を集める（特に、2015年サンパウロ国際大会について）。

ゲストと一緒にご参加ください 登録料金の割引を利用できる最終日 2014年3月31日

東日本災害のチャリティコンサート

北山吉明前会長：東日本災害のチャリティコンサートをいたします。この三年で5回目です。催し物は日本の歌をうたいます。チャリティ収入の一部は東日本に書籍をおくります。百万石 RC 後援をお願いしました。よろしくお願ひいたします。

3/19 金沢アートホールにて



パストガバナーからの手紙 169回

「喜多川歌麿の悲劇」

炭谷 亮一

先日喜多川歌麿の肉筆画の大作、雪・月・花三部作の内「深川の雪」が日本で発見されたとの報道があった。世紀の発見とも言われており、箱根の岡田美術館に収蔵されることとなった。今春公開予定だそう。

この三部作はパリでのジャポニスムによって明治20年に流出しており、その後「品川の月」はワシントン D.C のフェリア美術館に収蔵され、もう一方の「吉原の花」はコネチカット州の公立美術館に収蔵された。残る「深川の雪」が行方不明であったが、最近日本の美術商のルートで発見された。

テレビ映像で見たが、縦 199 cm、横 341 cm の大変大きな掛け軸になっており、20 数名の遊女の思い思いのポーズを描写した、歌麿の持つ「女を描かせりゃオイラの右に出る者はいやしねえよ!!」と言うセリフが飛び出してきそうな位、個々人の女性美を自由に伸び伸びと描いている。最高傑作と言える。

寛政の改革で節約・儉約・ケチケチの世で、よくこれだけ佳麗、優美、艶やかな肉筆画が描けたものだと感心した。歌麿はどうやら江戸を離れ、栃木の富豪のパトロンのもとで思う存分、筆をふるった様である。江戸を離れば監視などないに等しく、浮世絵師歌麿にとって絵の製作だけに没頭出来た、ひょっとして一生で一番幸せなひとときであったかも知れない。

歌麿は浮世絵師としては、必ずしも恵まれた流派の出身と言うわけではない。自身の豊かな才能と、蔦谷重三郎と言う優れた版元の支持を得て、当時は浮世絵の黄金期と言われており、その頂点に立ち、今日世界的に有名な絵師、そして美人画の巨匠と言われている。

1790 年、過去帳では「理清信女」と記される、歌麿にごく近い女性がこの世を去った。この女性は歌麿の母とも、あるいは妻とも言われている。ただ、曲亭馬琴によると、歌麿には妻も子もないという証言などもあって、今の時点ではどちらとも断言出来ない様だ。ともかくもこの女性の死は、歌麿の人生にとって重要な出来事で、これが契機となるかの様に「美人大首絵」を発表した。江戸っ子たちはびっくり、生身の女性をこんなに生き活きとクローズアップで描いた「美人大首絵」は前代未聞だった。現代のプロマイドの様な存在であったろう。歌麿にとって大切な、大切な「女」への思慕・挽歌として筆が「美人大首絵」に導いたのであろう。美人画を描くことは歌麿の心の叫びであり、発露であったろう。

歌麿が活躍した時期は、寛政の改革の一環で、浮世絵の彫の細かさや摺りの色数に至るまで厳しい制限が課せられていた。

そこで歌麿は、それを逆手にとって、限られた描線と色数で版画独特の美を発展させ、美人画の筆頭絵師として、浮世絵の黄金期を支える存在となる。売れっ子なるが由に、晩年は乱作・多作を重ね格調を失ったという見方もあるが、一方、社会が求めた退廃的な画風は成熟の証だとする見方もある。あの有名な「フェノロサ」は歌麿を以下のように評している。「1787 年頃に版行された清長風の歌麿作品は疑いもなく最も美しいものである。だが次の 10 年で歌麿は時の放縦に身を任せ、自分の気まぐれな空想にいつそう適した機会を見出した。奇妙なことに、歌麿は今や世俗に生きる長い顔をした俗悪な人種を創造したが、彼は現代フランス美術の退廃的な画面の先駆者であり、そのある部分のきっかけをつくったことは確かだ。歌麿はパリの時の人である」と述べている。

1804 年にこなしきれないほど仕事に追われていた歌麿に、大きな衝撃を与える事件が起きた。歌麿は当時禁止されていた、武家を実名で扱う御法度に抵触し検挙された（豊田秀吉の絵画他の咎）。

当代随一の売れっ子であった歌麿は当局の見せしめの意図もあってか、取り調べ中入牢、刑は手鎖 50 日という厳しい裁きを受けた。そろそろ老いの時を迎えつつあった歌麿に、この事件は相当なダメージを与えた様である。後世の書には、刑による心労で弱り果てた歌麿に、彼の死期が近いことを悟った版元たちが殺到して、山ほどの仕事を依頼した、とあるがあながちあり得ないことでもないだろう。ともかくこの事件が歌麿の早い死と無関係ではないことを示唆する証言がある。

曲亭馬琴の随筆「伊波伝毛乃記」の中で、当該事件を記述した項に、「歌麿も出牢せしが、其明年（実際は翌々年）に歿したり……」とある部分が、そっけない表現ながらも、言外に両者の因果関係をほのめかしている様である。

事件から 2 年後、歌麿はこの世を去った。享年 53 歳とも、あるいは 54 歳とも言われている。想像するに、あと

歌麿に10年絵筆をとらせることが出来たなら、「女性美」の更に奥深い内面をえぐり出し、表現し得たと思う。
悲劇の絵師、歌麿に深く追悼の意を表したい。

3月10日 朝 外は雪で真白



2014.3.10 朝 松上の雪

ふりつもるみ雪にたへていろかへぬ松ぞををしき人もかくあれ

(一九四六年歌会始「松上雪」)

敗戦の年に詠まれ、翌年の歌会始の儀式は催されなかったが御製として発表された作品である。占領期ながら、御歌所が廃止になるのはこの年の四月だから、まだ御歌所が機能していたわけである。お題「松上雪」の発表は、例年の八月一日より遅れて前年一九四五年一〇月二二日であり、翌日の新聞報道によれば、御歌所長（三条公輝）は「お題」につき、つぎのように説明している(「平和と苦難へ 畏き大御心、三条御歌所所長謹話」『朝日新聞』一九四五年一〇月二三日)。

「(前略) 緑濃き松が枝にしづしづと積もれる雪、一面洵に平和の象徴とも見るべく、また積雪を冒していよいよ清節を開く有様は、他面に現下国民の苦難に耐へつつ勇往邁進する姿も見られて、そぞろに感深き御題と拝察するのであります」

(戦後の天皇の歌をおもいだしました。)